

【資料6】2023年度がんゲノム医療コーディネータ研修カリキュラムの作成（太字の箇所を修正・作成）
厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業 がんゲノム医療推進に向けたがん遺伝子パネル検査の実態把握とがんゲノム医療提供体制構築に資する研究班(研究代表者 大津敦)に協力して作成

<がんゲノム医療コーディネータ研修カリキュラム>

・教育目標

核酸（DNA/RNA）を用いて治療に有益な情報を得るためにがん遺伝子パネル検査の実施を希望する方に対して、がん遺伝子パネル検査の説明の補助を行い、検査後の説明や意思決定の補助を行うことができる知識、技術、態度を習得したがんゲノム医療コーディネータを養成する。

・GIO（一般目標）

がんゲノム医療の実践に必要な医療従事者として、がんゲノム医療に関するがん遺伝子パネル検査、患者・家族への伝え方、多職種との連携、意思決定支援等について必要な知識・態度・技術を習得する。

・SBO（到達目標）

- A. がんゲノムコーディネーター（CGMC）が行う業務
- ① CGMC ががんゲノム医療の現場で果たす具体的な役割について概説できる。
 - ② がん遺伝子パネル検査の実施について意思決定支援ができる。
 - ③ がん遺伝子パネル検査の結果に基づく治療について補助的説明を行い、意思決定支援ができる。
 - ④ **germline findings** や遺伝性腫瘍が疑われる場合に、多職種と連携して、患者・家族に適切な対応をとることができる。
- B. がん遺伝子パネル検査の概要
- ① がん遺伝子パネル検査の目的、がんゲノムプロファイリング検査（CGP）とコンパニオン診断薬（CDx）、遺伝学的検査の違いを説明できる。（本研修会のがん遺伝子パネル検査は CGP が対象）
 - ② 保険診療によるがん遺伝子パネル検査の種類と特徴、対象者、使用する検体、検査の流れについて説明できる。
 - ③ 患者への説明と同意に含まれる内容と留意点を概説できる。
 - ④ 血中循環腫瘍 DNA（ctDNA）を用いたがんゲノムプロファイリング検査（CGP）の特徴を説明できる。
 - ⑤ 保険診療の対象者を説明できる。
 - ⑥ 血漿検体及び組織検体を用いたがんゲノムプロファイリング検査（CGP）の利点と注意点を説明できる。
 - ⑦ がん遺伝子パネル検査とエキスパートのレポートの概略を概説できる。
 - ⑧ 遺伝子変化に関連する薬剤のエビデンスレベルを概説できる。
 - ⑨ **germline findings**と開示の留意点について概説できる。
 - ⑩ 結果説明に際して、説明すべき内容と留意点を概説できる。
 - ⑪ がん遺伝子パネル検査に基づく治療の現状と課題を概説できる。
 - ⑫ 保険外併用療養費制度（治験、先進医療、患者申出療養など）を概説できる。
- C. コミュニケーションの技術
- ① 患者および家族に様々な情報をわかりやすく提供することができる。
 - ② 自律的決定の支援を行うことができる。
 - ③ コーディネータに必要な面接コミュニケーションができる。
- D. 基礎知識
- ① がんゲノム医療の提供体制を含む施策について概説できる。
 - ② がんゲノム医療の現状や課題、今後の方向性について概説できる。
 - ③ がんゲノム医療に必要な分子生物学の基礎知識を概説できる。
 - ④ バイオマーカーに基づく分子標的治療の概要が説明できる。
 - ⑤ コンパニオン診断薬について概説できる。
 - ⑥ 臓器横断的バイオマーカーの意義について概説できる。
 - ⑦ 遺伝性腫瘍の特徴と生殖系列遺伝子バリエーションについて概説できる。
 - ⑧ 遺伝性腫瘍に対するがんリスク評価、がん予防について説明できる。
 - ⑨ がん遺伝子パネル検査における **germline findings** と遺伝カウンセリングについて説明できる。
 - ⑩ 遺伝性腫瘍に関する遺伝学的検査の種類について説明できる。
（単一遺伝子、MGPT:多遺伝子パネル、シングルサイトの各遺伝学的検査）
 - ⑪ 多遺伝子パネル検査（MGPT）について概説できる。
 - ⑫ 適切ながんゲノム医療の実施に必要な医療倫理の考え方を概説できる。
 - ⑬ 個人情報やプライバシーに関する用語を概説できる。
 - ⑭ 対象となる人たちの人権や個人情報を守りつつ、倫理性に配慮した検査を適切に遂行するための補助ができる。
 - ⑮ 全ゲノム解析の特徴と意義、全ゲノム解析実行計画の概要を概説できる。